

“何時までも、応援しています！”



感動の卒業式・お別れ式！



令和4年3月18日（金）。本校、第75回卒業証書授与式を執り行いました。今年度も、参加者を絞っての開催

となりましたが、滞りなく卒業生を送り出すことができ、安堵しています。

「愛されているという実感」「祝福されているという実感」が、新世界に飛び込む子どもたちにとって最高のエネルギーになることを、子どもたちの輝く表情が改めて教えてくれました。子どもたちを支えていただいていた全ての皆様に感謝の意を表します。本当にありがとうございました。そして、中学校に旅立つ子どもたちを、これからも温かく見守っていただければ幸いです。

子育てピンポイント集 Vol.6. ハツとしてグッと来る話！

さて皆さんも子供の頃、学校の図書館でイソップ童話を読まれた方は多いのでは。人の生き方について考えさせるお話が沢山あります。その中でも「北風と太陽」というお話はとても有名ですね。北風と太陽が力試しをし、旅人の服をどちらが脱がせるかという話。

この話の教訓は、「北風のように、無理矢理、強引に押しつけても人は動かない」。太陽のように「相手の気持ちを考えて行動すれば、自分自身で動いてくれる」ということです。私たちも、親や教師、立場は違えども、かくありたいものです。太陽の如く、温かく子供を見つめ、伸ばしていけるよう…。そう言えば、下村湖人の書いた次郎物語では、息子である次郎のためを思い、人一倍厳しく接していた次郎の母が、臨終にあたり「ただ可愛がってさえやれば良かったのですね…」

と呟いた言葉が鮮明に蘇ります。勿論、時には厳しくすることも忘れてはならないでしょう。ただ、その際も、感情にまかせ「怒る」のではなく冷静に「叱る」というスタンスを忘れることなくバランスを考えながら接していきたいものです。悩みながらの子育てでしようが、今、子育てできることに感謝ですね！

北風と太陽（笑顔で心を育てましょう）

有終の美！

生活に、学習に、優秀だった今年の6年生。有終の美を飾るかのように、税に関する絵はがきコンクールにおいて、船津心美さん、槇知子さん、石橋朋佳さん、内田悠希人さん、江頭望紗さんが見事入選を果たしました。

過日、関係者の皆様方が、わざわざ学校に出向き表彰式をして頂きました。大変よい記念となりました。

また、佐賀新聞主催の Challenge 3Days コンクールで、吉田優希さん、古賀夏希さんが、見事優秀作品として入選しました。

本当に“おめでとう”！

そしてこれからも輝いて！（\*^o^\*）

～お礼～

学校だよりも回を重ね、これが今年度最後のお便りとなりました。振り返ってみると、子ども達の学校での活躍、自身の教育観、人生観など、特に「美」「善」「逞しさ」は、その中心的なものでした。「新生チーム千代田中部小」に込めた思い通り、地域の方々の温かく沢山の応援のおかげで、「学校づくり」に心置きなく取り組めたことは、何よりの幸せでした。

これからも、未来を担う千代田中部小の子ども達のために「目をかけ、気をかけ、声をかけ」て頂きたく存じます。また、子どもたちの元気な声が学校中に響き続ける事を楽しみにして、今年度の学校だよりを終了させていただきます。ご愛読ありがとうございました。（\*^o^\*）



